

第6回鎌ヶ谷市緑の基本計画検討委員会

日時 令和4年10月7日(金) 午後2時～
場所 鎌ヶ谷市役所 6階 第1・2委員会室
出席委員 山崎誠子委員、伊東英幸委員、鈴木弘行委員、
小金谷茂子委員、榎本美紅委員、三浦弘委員、
佐藤誠委員、神尾豊彦委員、尾辻亨委員、
高野武委員、岡野正委員、浅海靖弘委員、村越太長委員
(13名出席)
欠席委員 齊藤清光委員
事務局 葛山順一都市建設部長、浅野和彦都市計画課長、
秋元勝美公園緑地課長、内藤雄介公園緑地課みどり推進係長
大野亮公園緑地課みどり推進係
(司会) 三井博登公園緑地課みどり推進係
傍聴者5名

議 題

(1) 鎌ヶ谷市緑の基本計画(案)について

事務局から配布資料の内容について概要を説明した。

(議長)

今回の資料に関して、事前に委員からご意見がありましたので、委員からお話いただきたいと思います。

(委員)

直接、緑の基本計画の内容とは関係がないことではありますが、生物多様性の項目について、明らかな間違いがあったため、事前に事務局にお話ししました。9ページのニホンリスについて、県の博物館や研究報告を見ると、鎌ヶ谷市では50年前くらいになくなっていると思われるのと、ノウサギがいるので代わりにそちらにした方が良いのではと話しました。

続いて10ページですが、千葉県の中で様々な生物が絶滅危惧種に指定されています。県の最重要保護生物としてフクロウが挙げられているのですが、フクロウは重要保護生物であるため、指定のランクが一つ下がっています。そのため、フクロウの代わりに鎌ヶ谷市に生息していると思われるアオバズクを記載することが良いと話しました。

ちなみに、アオバズクとはフクロウの仲間で、夏鳥として日本に渡ってきて繁殖しますが、とても減少している鳥で、恐らく中沢あたりで見られると思います。何年か前の報告書を見ると、鎌ヶ谷市にも生息が考えられるものと思います。

(議長)

住宅地が増加する一方で、このような生物が見られることは貴重なことだと思います。

(委員)

本計画のキーワードとして「次の世代につなぐ」があります。概要版はきれいで見やすくなっていますが、子どもたちにも受け継いでいくという中では、まだ煩雑であると感じました。都内では、子ども版の概要版もあったりするため、もし、手間がかからないものであれば、本計画についても子ども版をご検討いただければ、より若い世代にも伝えやすくなると思いました。

(事務局)

今後検討していきたいと思います。

(委員)

もう1点あります。参考編の用語解説について、本編で用いられている用語に※が付記されていない箇所が見受けられたため、一度、ご確認いただきたいと思えます。

(事務局)

本編で用語を複数回使用する場合は、ページ番号が若い方に一度付記し、その後は付記しない形で統一していますが、間違いがないかをもう一度確認いたします。

(委員)

4箇所見受けられたため、会議後に、お話しさせていただければと思います。

(事務局)

お願いいたします。

(議長)

緑の基本計画は、開発事業者など自治体に関わる人が読む冊子であるため、大人向けになっています。ただ、次の段階として、次世代の人たちに、鎌ヶ谷市の緑が素敵なものであるため、緑について、皆で考えて作って守ってもらうためのきっかけづくりとして、子どもたち向けの緑の基本計画があればいいと思います。概要版は確かに漢字が多く、小学生が読むには大変だと思うので、読みやすいものがあれば良いと思います。

(委員)

この計画書については、どのように周知や配布を行うのでしょうか。

(事務局)

この計画は世代関係なく広く知っていただきたいものであるため、計画策定時には、市の広報でその旨を周知するとともに、市役所及び各コミュニティセンター等の施設に計画書を設置し、皆様に手に取っていただきやすくします。

特に概要版については、1, 500部を配布するなど、より多くの方に手に取ってもらえるようにしたいと考えています。

(委員)

行政からプッシュ型で配布する訳ではないですか。

(事務局)

全市民の方への配布は考えていません。

(議長)

通常は、今事務局から説明があった配布の仕方だと思います。他にはホームページからダウンロードする形があると思います。

今は情報を手に入れやすい状況であるため、様々な手法により発信していくものだと思います。

(委員)

緑地の確保目標について、目指す方向が現状維持となっていますが、都市公園の整備については約7ヘクタール増加させる目標を掲げています。緑被率と緑地面積を増やす目標値を設定せずに、目標を現状維持にした理由を確認させて下さい。都市公園を整備すると緑被率等が増えることと、基本方針「緑をつくろう」の施策においても緑を増やしていくため、現状維持は少し弱い目標と感じます。

(事務局)

前計画策定時と本計画策定時を比較すると、268ヘクタールから224ヘクタールに減少しており、今後、都市公園の整備等を進め緑地の確保が進められたとしても、市全体の緑としては減らざるを得ないものだと考えています。しかし、緑を増やしていくことはできなくても、現状を維持していく、あるいは、緑地の減少の抑制をしていきたい思いから、現状維持という形で目標を設定しています。

(議長)

これまで農家さんたちが育んできた畑が減少してきているなど、緑地の量については民に関係するところがあります。そのためにも、子どもたちには緑を守ってもらおうとか、デベロッパーに緑を増やしてもらったりする必要があると思います。東京都港区では緑が増えていて、デベロッパーが大きなプロジェクトをするたび、建物を高く建てるために緑地をつくっているなど、デベロッパーの意識が重要となっていると思います。鎌ヶ谷市の現状等を考えた中で、考えうる目標としてはこの現状維持だと思います。

(委員)

例えば、愛知県の自治体では、開発で緑が壊された場合は、壊した分の緑の面積をほかで確保するなど、緑被率を減らさない施策を導入しています。この場で議論をすることは難しいとは思いますが、今後、開発や耕作放棄地といった問題に対して、今後どうしていくかを検討していくと良いのではと思いました。

(議長)

都市計画マスタープランなどでも、そのあたりをいじれたら変わっていけるのではと思います。

(委員)

本編54ページの緑化重点地区について、都市軸の駅周辺が記載されており、また、56ページのウに、このエリアの緑を創出すると記載されていますが、鎌ヶ谷大仏駅、北初富駅及びくぬぎ山駅などに関する記載がありません。計画書を読んだ人の地域が都市軸以外だと、この地域がおいてけぼりになっているのではと感じてしまうと思います。そのため、意味合いが異なるとしても、ほかの駅について触れた方が、その地域の人々の意識の醸成にも繋がると考えられるため、もし可能であれば検討いただきたいと思います。

(事務局)

都市軸以外の地域についても、緑化をした方が良いのではないかというご意見だと思いますが、この項目は緑化重点地区であるため、重点ということで都市軸の駅周辺を位置付けています。北初富駅等のほかの地域を緑化しないという訳ではなく、北初富駅や鎌ヶ谷大仏駅等についても、できることはやっていきたいと考えています。

(委員)

住むものとしての率直な意見として挙げさせていただきました。ありがとうございます。

(議長)

人が集まる地域については、景観ということで、質の高い駅前空間を形成していくことを、今後、都市計画マスタープランでも位置づけていければと思います。

(委員)

緑を守ろうということで、最近、貝柄山公園の木が枯れてきていますが、ほかの公園も樹木が枯れてきていますか。また、何かしらの対策を講じているのかを知りたいです。

(事務局)

貝柄山公園だけではなく、ナラ枯れという、カシノナガキクイムシがナラ等の木に病原菌をつけることで木が枯れる病気が市全域で発生しています。昨年からは、確認されてからは、相当な数の木が枯れてきています。本市の公園内については多くの方が来園されます。枯れた木の倒木や落枝により利用者の方に危険があってはならないため、その対策として、伐採や消毒を行っているところです。今後も、ナラ枯れ対策には力を入れていきたいと考えています。

(委員)

市川市でもナラ枯れが増えています。ナラ枯れによって、主にコナラやマテバシイが枯れてきています。全部の木をナラ枯れから守ることは費用的にも現実的ではないため、例えば、まだ被害を受けていないシンボルツリー等があれば、その木に薬液を注入することでナラ枯れを予防できると思います。

(議長)

ナラ枯れは全国的にも問題になっています。ナラ枯れは枯れ始めてきて、そこで初めて気付くものなので、温暖化の進行や外来種の導入とは違い、植物はすぐに状態が分かるものではないため、自治体としては人々に危険が及ばないように対処していくということが、おおむねの動きだと思います。

(委員)

参考編31ページの好きな緑、守りたい緑はどこですかの項目について、対象者はどのように選出したものでしょうか。

(事務局)

3日間実施したオープンハウスというパネル展示会において、来庁された方からアンケートの回答をいただいたものとなっております。

(議長)

ほかはよろしいでしょうか。緑のまちをつくるルールは緑の基本計画だけでは無く、総合基本計画、都市計画マスタープランという上位計画に基づいているものですが、本日は、この上位計画に関する部局にも話をした方がよい内容もあったかと思われましたので、事務局から伝えてもらえればと思います。

では、本日の鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）について、おおむねこの案で進めることとしてよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(議長)

ありがとうございます。本日の議題である鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）について、事務局で一部修正し、進めることとしてよろしいと皆様から頂きました。

(事務局)

ありがとうございます。引き続き、本計画策定に向けて進めて参ります。

(議長)

はい。ありがとうございました。

それでは、本日の会議はここまでといたします。皆さんありがとうございました。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和4年10月24日

氏名 佐藤 誠

氏名 高野 武